



Dkt. 2271/64396

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Application of: Keizo BABA

Serial No.: 09/808,932

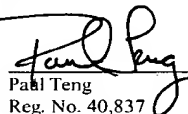
Group Art Unit: 2626

Date Filed: March 15, 2001

Examiner: Thomas J. Lett

For: A FACSIMILE APPARATUS, A METHOD OF DISPLAYING ADVERTISEMENT INFORMATION THROUGH THE FACSIMILE APPARATUS AND A COMMUNICATION SYSTEM PROVIDED WITH THE FACSIMILE APPARATUS

I hereby certify that this correspondence is being deposited this date with the U.S. Postal Service with sufficient postage as first class mail in an envelope addressed to: Commissioner for Patents, P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450.

  
Paul Teng  
Reg. No. 40,837

December 27, 2004  
Date

1185 Avenue of the Americas  
New York, N.Y. 10036  
(212) 278-0400

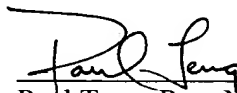
Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

**CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. § 119**

Sir:

Applicant hereby submits certified copies of priority applications Nos. JP 2000-072654 and JP 2001-040422 and hereby claims priority under 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,



Paul Teng, Reg. No. 40,837  
Attorney for Applicant  
Cooper & Dunham LLP  
Tel.: (212) 278-0400

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
in this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年 3月15日

願 番 号  
Application Number:

特願2000-072654

願 人  
Applicant(s):

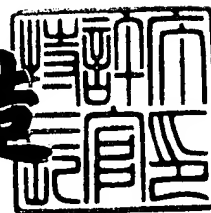
株式会社リコー

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 1月12日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3111751

BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願

【整理番号】 9908045

【提出日】 平成12年 3月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00 107  
H04L 12/28

【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置およびその広告情報表示方法

【請求項の数】 24

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

【氏名】 馬場 圭三

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

【識別番号】 100072604

【弁理士】

【氏名又は名称】 有我 軍一郎

【電話番号】 03-3370-2470

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006529

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9809862

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置およびその広告情報表示方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インターネット上の広告用サーバーから広告情報を取得する広告情報取得手段と、

前記広告情報取得手段により取得した広告情報を表示する表示手段と、  
を備えることを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項 2】

前記広告情報取得手段は、取得した広告情報を、ファクシミリ送信している間前記表示手段に表示することを特徴とする請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 3】

前記広告情報取得手段は、取得した広告情報を、メモリ送信時に原稿をメモリに蓄積している間前記表示手段に表示することを特徴とする請求項 1 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 4】

前記表示手段に表示中の広告情報の出力を指示する広告情報出力指示手段を有し、

前記広告情報取得手段は、該広告情報出力指示手段により指示された広告情報を出力手段により出力することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 5】

前記表示手段に表示中の広告情報のファクシミリ送信を指示する広告情報ファクシミリ送信指示手段を有し、

前記広告情報取得手段は、該広告情報ファクシミリ送信指示手段により指示された広告情報を予め設定された宛先にファクシミリ送信することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 6】

前記表示手段に表示中の広告情報の電子メール送信を指示する広告情報メール送信指示手段を有し、

前記広告情報取得手段は、該広告情報メール送信指示手段により指示された広告情報を予め設定された宛先に電子メールで送信することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 7】

前記広告情報取得手段は、通信管理レポートに広告情報を合成することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 8】

前記広告情報取得手段は、送信画データの一部に広告情報を合成することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 9】

前記広告情報取得手段は、一定時間間隔で広告情報を出力手段に出力することを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 1 0】

前記広告情報取得手段は、一定時間間隔で広告情報を予め設定された宛先に電子メールで送信することを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 1 1】

前記広告情報取得手段は、ファクシミリ送信する宛先の電話番号から送信先の国を特定し、特定した国で使用している言語の広告情報を送信画データの一部に合成することを特徴とする請求項 8 に記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 1 2】

前記広告情報取得手段は、一定時間間隔で広告情報を広告用サーバーから取得することを特徴とする請求項 1 から 1 1 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 1 3】

インターネット上の広告用サーバーから広告情報を取得する工程と、

該取得した広告情報を表示手段に表示する工程と、  
を有することを特徴とするインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 1 4】

ファクシミリ送信開始時に前記取得した広告情報を前記表示手段に表示する工程と、

ファクシミリ送信終了時に該表示手段への表示を終了する工程と、  
を有することを特徴とする請求項 1 3 に記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 1 5】

メモリ送信の原稿をメモリに蓄積を開始した時に前記取得した広告情報を前記表示手段に表示する工程と、

メモリ蓄積終了時に該表示手段への表示を終了する工程と、  
を有することを特徴とする請求項 1 3 に記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 1 6】

前記表示手段に表示中の広告情報を出力する指示により広告情報を出力する工程を有することを特徴とする請求項 1 3 から 1 5 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 1 7】

前記表示手段に表示中の広告情報をファクシミリ送信する指示により広告情報をファクシミリ送信する工程を有することを特徴とする請求項 1 3 から 1 5 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 1 8】

前記表示手段に表示中の広告情報を電子メール送信する指示により広告情報を電子メール送信する工程を有することを特徴とする請求項 1 3 から 1 5 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 1 9】

通信管理レポートに広告情報を合成する工程を有することを特徴とする請求項

1 3 から 1 8 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 2 0】

送信画データの一部に広告情報を合成する工程を有することを特徴とする請求項 1 3 から 1 8 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 2 1】

一定時間間隔で広告情報を出力手段に出力する工程を有することを特徴とする請求項 1 3 から 2 0 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 2 2】

一定時間間隔で広告情報を予め設定された宛先に電子メールで送信する工程を有することを特徴とする請求項 1 3 から 2 0 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 2 3】

ファクシミリ送信する宛先の電話番号から送信先の国を特定し、特定した国で使用している言語の広告情報を送信画データの一部に合成する工程を有することを特徴とする請求項 2 0 に記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【請求項 2 4】

一定時間間隔で広告情報を広告用サーバーから取得する工程を有することを特徴とする請求項 1 3 から 2 3 のいずれかに記載のインターネットファクシミリ装置の広告情報表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ファクシミリ装置に関し、詳しくは、インターネットに接続し、インターネットを使用して画データを送受信することができるインターネットファクシミリ装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年のファクシミリ装置は、ネットワークインターフェースを持ち、インターネットに接続可能にするものが開発されており、電話回線に代わってインターネットを使用して画データを送受信することができるようになっていて、インターネットファクシミリと呼ばれている。

【 0 0 0 3 】

一方、インターネットは急速に普及しており、メールやニュースを利用するだけでなく、オンラインショッピングや電子マネーなどの新しい産業を生み出している。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来のインターネットファクシミリにあつては、ネットワークインターフェースを持っているため、その分コストが上がるが、インターネットを画データの転送にしか利用しておらず、インターネットに接続している利点や有効な使い方がないため、普及が進まないという問題があった。

【 0 0 0 5 】

そこで、本発明は、インターネットファクシミリ装置の表示手段に広告を表示することにより、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として利用し、広告主の出資により、安価なインターネットファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上記目的達成のため、請求項 1 に記載の発明は、インターネット上の広告用サーバーから広告情報を取得する広告情報取得手段と、前記広告情報取得手段により取得した広告情報を表示する表示手段と、を備えることを特徴とするものである。

【 0 0 0 7 】

この請求項 1 に記載の発明では、表示手段に広告情報が表示される。したがっ



て、インターネットファクシミリ装置の操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 0 8 】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明の構成に加え、前記広告情報取得手段は、取得した広告情報を、ファクシミリ送信している間前記表示手段に表示することを特徴とするものである。

【 0 0 0 9 】

この請求項 2 に記載の発明では、ファクシミリ送信している間表示手段に広告情報が表示される。したがって、ファクシミリ送信している操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 1 0 】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明の構成に加え、前記広告情報取得手段は、取得した広告情報を、メモリ送信時に原稿をメモリに蓄積している間前記表示手段に表示することを特徴とするものである。

【 0 0 1 1 】

この請求項 3 に記載の発明では、メモリ送信時に原稿をメモリに蓄積している間表示手段に広告情報が表示される。したがって、メモリ蓄積している操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 1 2 】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 から 3 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記表示手段に表示中の広告情報の出力を指示する広告情報出力指示手段を有し、前記広告情報取得手段は、該広告情報出力指示手段により指示された広告情報を出力手段により出力することを特徴とするものである。

【 0 0 1 3 】

この請求項 4 に記載の発明では、表示手段に表示中の広告情報が出力される。したがって、操作者の選択した広告情報を出力することができる。

【 0 0 1 4 】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 1 から 3 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記表示手段に表示中の広告情報のファクシミリ送信を指示する広告情報ファ

クシミリ送信指示手段を有し、前記広告情報取得手段は、該広告情報ファクシミリ送信指示手段により指示された広告情報を予め設定された宛先にファクシミリ送信することを特徴とするものである。

【 0 0 1 5 】

この請求項 5 に記載の発明では、表示手段に表示中の広告情報がファクシミリ送信される。したがって、操作者の選択した広告情報をファクシミリ送信することができる。

【 0 0 1 6 】

請求項 6 に記載の発明は、請求項 1 から 3 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記表示手段に表示中の広告情報の電子メール送信を指示する広告情報メール送信指示手段を有し、前記広告情報取得手段は、該広告情報メール送信指示手段により指示された広告情報を予め設定された宛先に電子メールで送信することを特徴とするものである。

【 0 0 1 7 】

この請求項 6 に記載の発明では、表示手段に表示中の広告情報が電子メール送信される。したがって、操作者の選択した広告情報を電子メール送信することができる。

【 0 0 1 8 】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 1 から 6 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記広告情報取得手段は、通信管理レポートに広告情報を合成することを特徴とするものである。

【 0 0 1 9 】

この請求項 7 に記載の発明では、通信管理レポートに広告情報が合成されて出力される。したがって、通信管理レポートを見る操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 2 0 】

請求項 8 に記載の発明は、請求項 1 から 6 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記広告情報取得手段は、送信画データの一部に広告情報を合成することを特徴とするものである。

【 0 0 2 1 】

この請求項 8 に記載の発明では、送信画データに広告情報が合成され、送信される。したがって、ファクシミリの受信者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 2 2 】

請求項 9 に記載の発明は、請求項 1 から 8 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記広告情報取得手段は、一定時間間隔で広告情報を出力手段に出力することを特徴とするものである。

【 0 0 2 3 】

この請求項 9 に記載の発明では、広告情報が一定時間間隔で出力される。したがって、定期的に操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 2 4 】

請求項 1 0 に記載の発明は、請求項 1 から 8 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記広告情報取得手段は、一定時間間隔で広告情報を予め設定された宛先に電子メールで送信することを特徴とするものである。

【 0 0 2 5 】

この請求項 1 0 に記載の発明では、広告情報が一定時間間隔で電子メールで送信される。したがって、定期的に電子メールの受信者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 2 6 】

請求項 1 1 に記載の発明は、請求項 8 に記載の発明の構成に加え、前記広告情報取得手段は、ファクシミリ送信する宛先の電話番号から送信先の国を特定し、特定した国で使用している言語の広告情報を送信画データの一部に合成することを特徴とするものである。

【 0 0 2 7 】

この請求項 1 1 に記載の発明では、ファクシミリ送信する宛先の国に合った広告情報がファクシミリ原稿に合成されて送信される。したがって、ファクシミリ受信者に広告情報を確実に読ませることができる。

【 0 0 2 8 】

請求項 1 2 に記載の発明は、請求項 1 から 1 0 の何れかに記載の発明の構成に

加え、前記広告情報取得手段は、一定時間間隔で広告情報を広告用サーバーから取得することを特徴とするものである。

【 0 0 2 9 】

この請求項 1 2 に記載の発明では、広告情報が一定時間間隔で取得される。したがって、インターネットへのアクセス回数が削減される。

【 0 0 3 0 】

請求項 1 3 に記載の発明は、インターネット上の広告用サーバーから広告情報を取得する工程と、該取得した広告情報を表示手段に表示する工程と、を有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 1 】

この請求項 1 3 に記載の発明では、表示手段に広告情報が表示される。したがって、インターネットファクシミリ装置の操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 3 2 】

請求項 1 4 に記載の発明は、請求項 1 3 に記載の発明の構成に加え、ファクシミリ送信開始時に前記取得した広告情報を前記表示手段に表示する工程と、ファクシミリ送信終了時に該表示手段への表示を終了する工程と、を有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 3 】

この請求項 1 4 に記載の発明では、ファクシミリ送信している間表示手段に広告情報が表示される。したがって、ファクシミリ送信している操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 3 4 】

請求項 1 5 に記載の発明は、請求項 1 3 に記載の発明の構成に加え、メモリ送信の原稿をメモリに蓄積を開始した時に前記取得した広告情報を前記表示手段に表示する工程と、メモリ蓄積終了時に該表示手段への表示を終了する工程と、を有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 5 】

この請求項 1 5 に記載の発明では、メモリ送信時に原稿をメモリに蓄積してい

る間表示手段に広告情報が表示される。したがって、メモリ蓄積している操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 3 6 】

請求項 1 6 に記載の発明は、請求項 1 3 から 1 5 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記表示手段に表示中の広告情報を出力する指示により広告情報を出力する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 7 】

この請求項 1 6 に記載の発明では、表示手段に表示中の広告情報が出力される。したがって、操作者の選択した広告情報を出力することができる。

【 0 0 3 8 】

請求項 1 7 に記載の発明は、請求項 1 3 から 1 5 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記表示手段に表示中の広告情報をファクシミリ送信する指示により広告情報をファクシミリ送信する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 3 9 】

この請求項 1 7 に記載の発明では、表示手段に表示中の広告情報がファクシミリ送信される。したがって、操作者の選択した広告情報をファクシミリ送信することができる。

【 0 0 4 0 】

請求項 1 8 に記載の発明は、請求項 1 3 から 1 5 の何れかに記載の発明の構成に加え、前記表示手段に表示中の広告情報を電子メール送信する指示により広告情報を電子メール送信する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 4 1 】

この請求項 1 8 に記載の発明では、表示手段に表示中の広告情報が電子メール送信される。したがって、操作者の選択した広告情報を電子メール送信することができる。

【 0 0 4 2 】

請求項 1 9 に記載の発明は、請求項 1 3 から 1 8 の何れかに記載の発明の構成に加え、通信管理レポートに広告情報を合成する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 4 3 】

この請求項 1 9 に記載の発明では、通信管理レポートに広告情報が合成されて出力される。したがって、通信管理レポートを見る操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 4 4 】

請求項 2 0 に記載の発明は、請求項 1 3 から 1 8 の何れかに記載の発明の構成に加え、送信画データの一部に広告情報を合成する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 4 5 】

この請求項 2 0 に記載の発明では、送信画データに広告情報が合成され、送信される。したがって、ファクシミリの受信者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 4 6 】

請求項 2 1 に記載の発明は、請求項 1 3 から 2 0 の何れかに記載の発明の構成に加え、一定時間間隔で広告情報を出力手段に出力する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 4 7 】

この請求項 2 1 に記載の発明では、広告情報が一定時間間隔で出力される。したがって、定期的に操作者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 4 8 】

請求項 2 2 に記載の発明は、請求項 1 3 から 2 0 の何れかに記載の発明の構成に加え、一定時間間隔で広告情報を予め設定された宛先に電子メールで送信する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 4 9 】

この請求項 2 2 に記載の発明では、広告情報が一定時間間隔で電子メールで送信される。したがって、定期的に電子メールの受信者に広告情報を見せることができる。

【 0 0 5 0 】

請求項 2 3 に記載の発明は、請求項 2 0 に記載の発明の構成に加え、ファクシミリ送信する宛先の電話番号から送信先の国を特定し、特定した国で使用してい

る言語の広告情報を送信画データの一部に合成する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 5 1 】

この請求項 2 3 に記載の発明では、ファクシミリ送信する宛先の国に合った広告情報がファクシミリ原稿に合成されて送信される。したがって、ファクシミリ受信者に広告情報を確実に読ませることができる。

【 0 0 5 2 】

請求項 2 4 に記載の発明は、請求項 1 3 から 2 3 の何れかに記載の発明の構成に加え、一定時間間隔で広告情報を広告用サーバーから取得する工程を有することを特徴とするものである。

【 0 0 5 3 】

この請求項 2 4 に記載の発明では、広告情報が一定時間間隔で取得される。したがって、インターネットへのアクセス回数が削減される。

【 0 0 5 4 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を図面に基づいて説明する。

図 1 ～図 8 は本発明に係るインターネットファクシミリ装置の一実施形態を示す図である。

【 0 0 5 5 】

図 1 において、インターネットファクシミリ装置 1 0 は、CPU (Central Processing Unit) 1 1、ROM (Read Only Memory) 1 2、RAM (Random Access Memory) 1 3、操作部 1 4、ネットワークインターフェース部 1 5、画像メモリ 1 6、プロッタ部 1 7、スキャナ部 1 8、回線制御 (NCU: Network Control Unit) 部 1 9、モデム 2 0、ISDN (Integrated Services Digital Network) インターフェース部 2 1 がバス 3 0 を介して接続されている。

【 0 0 5 6 】

CPU 1 1 は、ROM 1 2 内に格納されているプログラムに従って、装置各部を制御してファクシミリ装置の所定の動作を実行するものである。

【 0 0 5 7 】

R A M 1 3 は、装置各部の駆動条件や管理データ等の各種情報を記憶するとともに動作する上で必要なデータを記憶するものである。

【 0 0 5 8 】

操作部 1 4 は、装置に対する各種操作を行うためのキーや、L E D (Light-Emitting Diode) の他に、装置の状態や、操作ガイダンスを表示する表示装置 1 4 a (表示手段) を備えており、この表示装置 1 4 a はビットマップを表示することが可能となっている。

【 0 0 5 9 】

ネットワークインターフェース部 1 5 は、イントラネットなどのローカルエリアネットワーク (以下、L A N という) に接続され、同じ L A N 内のサーバーなどと通信をし、それらのサーバーを介してインターネットに接続したり、電子メールの送受信を行うものである。

【 0 0 6 0 】

画像メモリ 1 6 は、スキャナ部 1 8 により読み取られた画像データや回線制御部 1 9 により受信された画像データを蓄積するものである。

【 0 0 6 1 】

プロッタ部 1 7 は、帯電部、現像部、定着部、感光体、給紙部などから構成され、画像データを用紙に記録出力するものである。

【 0 0 6 2 】

スキャナ部 1 8 は、送信する原稿の画像を読み取って画像データに変換するものである。

【 0 0 6 3 】

回線制御部 1 9 は、P S T N (Public Switched Telephone Network) に接続され、回線の捕捉、送信先電話番号である選択信号の送出、着呼の検出などにより、所定の送信動作および受信動作を行うものである。

【 0 0 6 4 】

モデム 2 0 は、画像データを変復調し回線制御部 1 9 を介して伝送するとともに、伝送制御手順における各種手順信号も伝送するものである。

【 0 0 6 5 】



I S D N インターフェース部 2 1 は、I S D N に接続され、呼設定メッセージの送出、呼設定メッセージの受信などにより、所定の送信動作および受信動作を行うものである。

【 0 0 6 6 】

このインターネットファクシミリ装置 1 0 は、図 2 に示すように、P S T N または I S D N に接続し、G 3 または G 4 プロトコルによって P S T N または I S D N に接続されているファクシミリ装置 3 2 とのファクシミリ通信が可能であるとともに、ネットワークインターフェース部 1 5 を介して L A N 上にあるインターネットサーバー（図示していない）と通信してインターネットに接続することができ、L A N 上にあるメールサーバー 3 1 を使って電子メールを送受信することができるようになっている。

【 0 0 6 7 】

このため、インターネットに接続された他のインターネットファクシミリ装置 3 3 に対し、電子メールを使ってファクシミリ原稿を送信することができるようになっている。

【 0 0 6 8 】

そして、インターネット上には広告情報のデータサーバーとしての広告用サーバー 3 4 があり、広告情報はこの広告用サーバー 3 4 に蓄積されていて、インターネットからアクセスして、F T P（File Transfer Protocol）や電子メールにより広告の画像情報などの広告情報を取得することができるようになっている。

【 0 0 6 9 】

このようなインターネットファクシミリ装置 1 0 は、インターネット上の広告用サーバー 3 4 から広告情報を取得して、送信処理中に表示装置 1 4 a に表示するようになっている。

【 0 0 7 0 】

具体的には、図 3 のフローチャートに示すように、C P U 1 1 は、スキャナ部 1 8 に原稿がセットされたことを検知し、操作部 1 4 のキー操作により宛先が入力され、送信キーが押され送信処理が指示されると、ネットワークインターフェース部 1 5 を介してインターネット上の広告用サーバー 3 4 から広告情報を取得

して画像メモリ16に蓄積し(S11)、操作部14の表示装置14aにその広告情報を表示する(S12)。

【0071】

表示中には、CPU11は、操作部14のキー操作による広告情報のプリント要求がないか判定し(S13)、プリント要求がある場合は、画像メモリ16に格納している表示中の広告情報をプロッタ部17によりプリント出力する。プリント要求がない場合は、次の処理を行う。

【0072】

次いで、送信処理が終了しているかを判定し(S15)、終了していなければステップ13に戻り処理を繰り返す。

【0073】

送信処理が終了すると、CPU11は、広告情報の表示を終了して(S16)処理を終了する。

【0074】

したがって、CPU11およびネットワークインターフェース部15は広告情報取得手段として機能する。

【0075】

また、操作部14は、広告情報出力指示手段として機能し、プロッタ部17は出力手段として機能する。

【0076】

このように、本実施形態においては、送信の処理が開始されたら広告情報を操作部14の表示装置14aに表示する。ユーザーは送信の終了を待っている間、操作部14の表示装置14aを注視しているため、表示される広告情報は必然的にユーザーの目に入り、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0077】

また、本実施形態においては、表示装置14aに表示中の広告情報を操作部14のキー操作によりプリント出力するため、ユーザーが選択した広告情報をプリント出力して残すことができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体とし

て有効に利用することができる。

【0078】

次に、このインターネットファクシミリ装置10は、インターネット上の広告用サーバー34から広告情報を取得して、広告情報をメモリ送信時の原稿蓄積中に表示装置14aに表示するようになっている。

【0079】

具体的には、図4のフローチャートに示すように、CPU11は、スキャナ部18に原稿がセットされたことを検知し、操作部14のキー操作により宛先が入力され、メモリ蓄積キーが押されメモリ蓄積処理が指示されると、図3のフローチャートと同様に、インターネット上の広告用サーバー34から広告情報を取得し、その広告情報を表示装置14aに表示する。(S11～S12)表示中にプリント要求があると、表示している広告情報をプロッタ部17によりプリント出力する(S13～S14)。その後、メモリ蓄積が終了しているか判定し(S21)、終了していなければステップ13からステップ14の処理を繰り返す。

【0080】

メモリ蓄積が終了すると、広告情報の表示を停止し(S16)、処理を終了する。

【0081】

このように、本実施形態においては、メモリ蓄積の処理が開始されたら広告情報を操作部14の表示装置14aに表示する。ユーザーはメモリ蓄積の終了を待っている間、操作部14の表示装置14aを注視しているため、表示される広告情報は必然的にユーザーの目に入り、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0082】

次に、このインターネットファクシミリ装置10は、インターネット上の広告用サーバーから取得した広告情報を通信管理レポートの一部に合成して出力するようになっている。

【0083】

具体的には、図5のフローチャートに示すように、操作部14のキーの入力に

より通信管理レポートの出力が指定されるか、通信記録が一定量に達したことによる通信管理レポートの出力指示により、CPU 11は、インターネット上の広告用サーバー34から広告情報を取得し、画像メモリ16に格納する(S31)

【0084】

次いで、通信管理レポートとして出力するデータをラスタライズして通信管理レポートのイメージを作成し(S32)、作成した通信管理レポートのイメージに画像メモリ16に格納した広告情報を合成する(S33)。この際、広告情報の合成位置は、図6に示すように、管理レポートの情報を壊さないような位置に合成する。

【0085】

次いで、広告情報を合成した通信管理レポートをプロッタ部17により用紙に記録出力する(S34)。

【0086】

このように本実施形態においては、通信管理レポートに広告情報を合成して出力する。したがって、管理レポートが出力されるたびに広告情報を出力することができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0087】

なお、本実施形態においては、通信管理レポートに広告情報を合成して出力したが、これに限定するものではなく、ファクシミリ装置が出力する全てのレポートに合成して出力してもよい。

【0088】

次に、このインターネットファクシミリ装置10は、インターネット上の広告用サーバーから取得した広告情報を、送信する原稿に合成して出力するようになっている。

【0089】

具体的には、図7のフローチャートに示すように、CPU11は、操作部14の送信キーが押下されたことが通知されると、スキャナ部18により送信原稿を

読み取る動作を開始するとともに、インターネット上の広告用サーバー 3 4 から広告情報を取得し画像メモリ 1 6 に格納する ( S 4 1 ) 。

【 0 0 9 0 】

次いで、スキャナ部 1 8 により読み取った 1 頁分のデータに補正処理や変換処理を行い画データを作成し ( S 4 2 ) 、作成した画データに画像メモリ 1 6 に格納した広告情報を合成する ( S 4 3 ) 。

【 0 0 9 1 】

次いで、合成した画データを回線制御部 1 9 または I S D N インターフェース部 2 1 により P S T N または I S D N を介して送信先ファクシミリ装置に送信する ( S 4 4 ) 。

【 0 0 9 2 】

次いで、送信した頁が最終頁かどうかを判定し ( S 4 5 ) 、最終頁でなければステップ 4 2 に戻り、次頁の広告情報合成処理を行う。最終頁であれば、処理を終了する。

【 0 0 9 3 】

このように本実施形態においては、送信する頁に広告情報を合成しているので、その原稿を受信したユーザーに広告を見せることができ、ファクシミリ原稿を広告媒体として有効に利用することができる。

【 0 0 9 4 】

次に、このインターネットファクシミリ装置 1 0 は、インターネット上の広告用サーバーから取得した広告情報を一定時間間隔でプリントアウトするようになっている。

【 0 0 9 5 】

具体的には、図 8 のフローチャートに示すように、CPU 1 1 は、タイマ管理 ( 図示していない ) から一定時間の経過による広告情報の出力時間の通知により処理を開始し、インターネット上の広告用サーバーから広告情報を取得し画像メモリ 1 6 に格納する ( S 5 1 ) 。

【 0 0 9 6 】

次いで、CPU 1 1 は、画像メモリに格納した広告情報をプロッタ部 1 7 によ

り印字出力する（S 5 2）。

【 0 0 9 7 】

このように本実施形態においては、一定時間ごとに広告情報がプロッタ部 1 7 により印字出力されるので、ユーザーは定期的に広告を見ることになり、ユーザーに確実に広告情報を読ませることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【 0 0 9 8 】

本実施形態の第 1 の他の態様としては、図 9 に示すように、CPU 1 1 は、タイマ管理からの一定時間の経過による広告情報の出力時間の通知により処理を開始し、インターネット上の広告用サーバーから広告情報を取得し画像メモリ 1 6 に格納し（S 6 1）、画像メモリに格納した広告情報を予め登録されている宛先に電子メールとして送信する（S 6 2）。このように構成することによって、一定時間ごとに広告情報が電子メールで送信されるので、ユーザーに確実に広告情報を読ませることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。また、紙に印字出力されないのでより頻繁に広告情報を送っても受信者に迷惑がかからない。なお、電子メールの宛先は複数を指定してもかまわない。

【 0 0 9 9 】

本実施形態の第 2 の他の態様としては、図示はしないが、操作部 1 4 の表示装置 1 4 a に表示中の広告情報を、操作部 1 4 のキー押下により画像読み込み中の原稿に付加して送信する。このように構成することによって、送信しようとしている宛先に応じた広告を送信することができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【 0 1 0 0 】

本実施形態の第 3 の他の態様としては、図示はしないが、操作部 1 4 の表示装置 1 4 a に表示中の広告情報を、操作部（広告情報ファクシミリ送信指示手段）1 4 のキー押下により予め設定された宛先にファクシミリ送信する。このように構成することによって、ユーザーの選んだ広告情報をユーザーに確実に読ませることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用する

ことができる。

【0101】

本実施形態の第4の他の態様としては、図示はしないが、操作部14の表示装置14aに表示中の広告情報を、操作部（広告情報メール送信指示手段）14のキー押下により予め設定された宛先に電子メールとして送信する。このように構成することによって、ユーザーの選んだ広告情報をユーザーに確実に読ませることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0102】

本実施形態の第5の他の態様としては、図示はしないが、送信する原稿に広告情報を合成して送信するとき、入力されている宛先の電話番号を解析し、国内であれば日本語の広告情報を、海外の宛先であれば、電話番号に付加されている国番号からその国に合った言語の広告情報を取得し合成して送信する。このように構成することによって、送信先に応じた言語の広告情報を付加することができ、広告情報をユーザーに確実に読ませることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0103】

本実施形態の第6の他の態様としては、図示はしないが、広告情報を表示装置14aに表示した回数や、通信管理レポートに合成して印字出力した回数や、送信原稿に合成して送信した回数や、電子メールとして送信した回数などを計数してRAM13内に記憶する。このように構成することによって、広告情報を出力した数により広告主に出資させることができ、インターネットファクシミリ装置の維持コストを削減することができる。

【0104】

本実施形態の第7の他の態様としては、図示はしないが、広告情報を一定時間間隔で広告用サーバーから取得する。このように構成することによって、インターネットへのアクセスを削減することができ、インターネットへのアクセスコストを削減することができる。

【0105】

【発明の効果】

本発明によれば、ファクシミリ送信中やメモリ蓄積中に表示手段に広告情報を表示しているので、ユーザーにインターネット上の最新の広告情報を提供することができるとともに、広告主からの出資によりファクシミリ装置の価格を安く抑えることができる。

【0106】

また、表示中の広告情報を出力手段に出力するようにすれば、ユーザーが必要とする広告情報を容易に残すことができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0107】

また、表示中の広告情報をファクシミリ送信するようにすれば、ユーザーが選択した広告情報をファクシミリ送信して受信者に見せることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0108】

また、表示中の広告情報を電子メール送信するようにすれば、ユーザーが選択した広告情報を電子メール送信して受信者に見せることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0109】

また、通信管理レポートに広告情報を合成するようにすれば、通信管理レポートを見るユーザーが広告情報を見るため、ユーザーが広告を見る機会を増やすことができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0110】

また、送信画データの一部に広告情報を合成するようにすれば、ファクシミリの受信者が広告情報を見るため、ユーザーが広告を見る機会を増やすことができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【0111】

また、一定時間間隔で広告情報を出力手段に出力するようにすれば、定期的に



ユーザーが広告情報を見るため、ユーザーが広告を見る機会を増やすことができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【 0 1 1 2 】

また、一定時間間隔で広告情報を予め設定された宛先に電子メールで送信するようにすれば、定期的にメールの受信者が広告情報を見るため、ユーザーが広告を見る機会を増やすことができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【 0 1 1 3 】

また、ファクシミリ送信する宛先の電話番号から送信先の国を特定し、特定した国で使用している言語の広告情報を送信画データの一部に合成するようにすれば、ファクシミリ受信者に広告情報を確実に読ませることができ、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として有効に利用することができる。

【 0 1 1 4 】

また、一定時間間隔で広告情報を広告用サーバーから取得するようにすれば、インターネットへのアクセス回数が削減され、インターネットファクシミリ装置のコストを削減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明に係るインターネットファクシミリ装置の一実施形態を示す図であり、その概略ブロック図である。

【図 2】

その使用形態を説明する図である。

【図 3】

そのファクシミリ送信時の広告情報表示処理を説明するフローチャートである。

【図 4】

そのメモリ蓄積時の広告情報表示処理を説明するフローチャートである。

【図 5】

その通信管理レポートへの広告情報合成処理を説明するフローチャートである。

【図 6】

その通信管理レポートへの広告情報の合成例を示す図である。

【図 7】

その送信画データへの広告情報の合成処理を説明するフローチャートである。

【図 8】

その一定時間間隔に広告情報を印字出力する処理を説明するフローチャートである。

【図 9】

その一定時間間隔に広告情報を電子メール送信する処理を説明するフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 0 インターネットファクシミリ装置
- 1 1 C P U (広告情報取得手段)
- 1 2 R O M
- 1 3 R A M
- 1 4 操作部 (広告情報出力指示手段、広告情報ファクシミリ送信指示手段、広告情報メール送信指示手段)
- 1 4 a 表示装置 (表示手段)
- 1 5 ネットワークインターフェース部 (広告情報取得手段)
- 1 6 画像メモリ
- 1 7 プロッタ部 (出力手段)
- 1 8 スキャナ部
- 1 9 回線制御部
- 2 0 モデム
- 2 1 I S D N インターフェース部
- 3 0 バス
- 3 1 メールサーバー

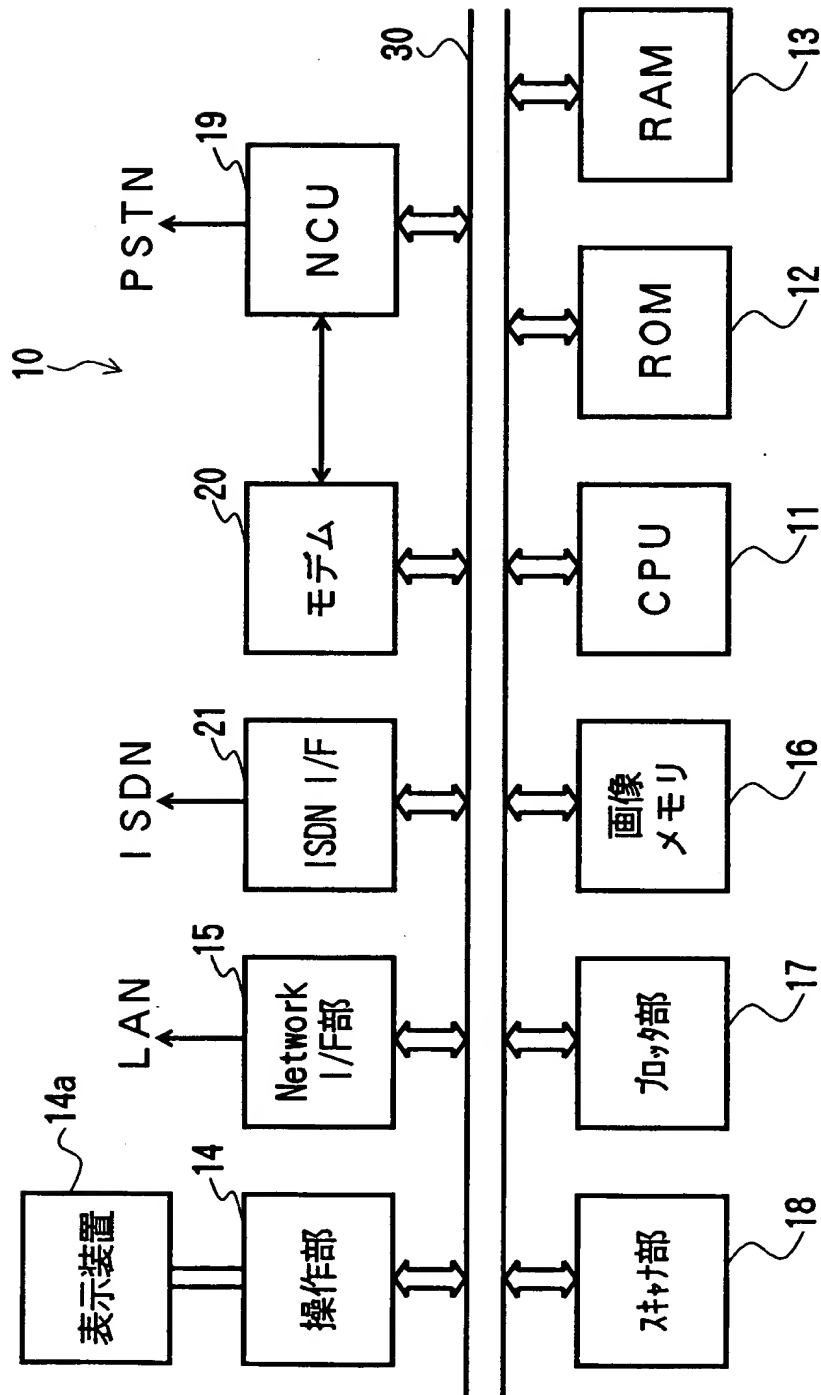
3 2 ファクシミリ装置

3 3 インターネットファクシミリ装置

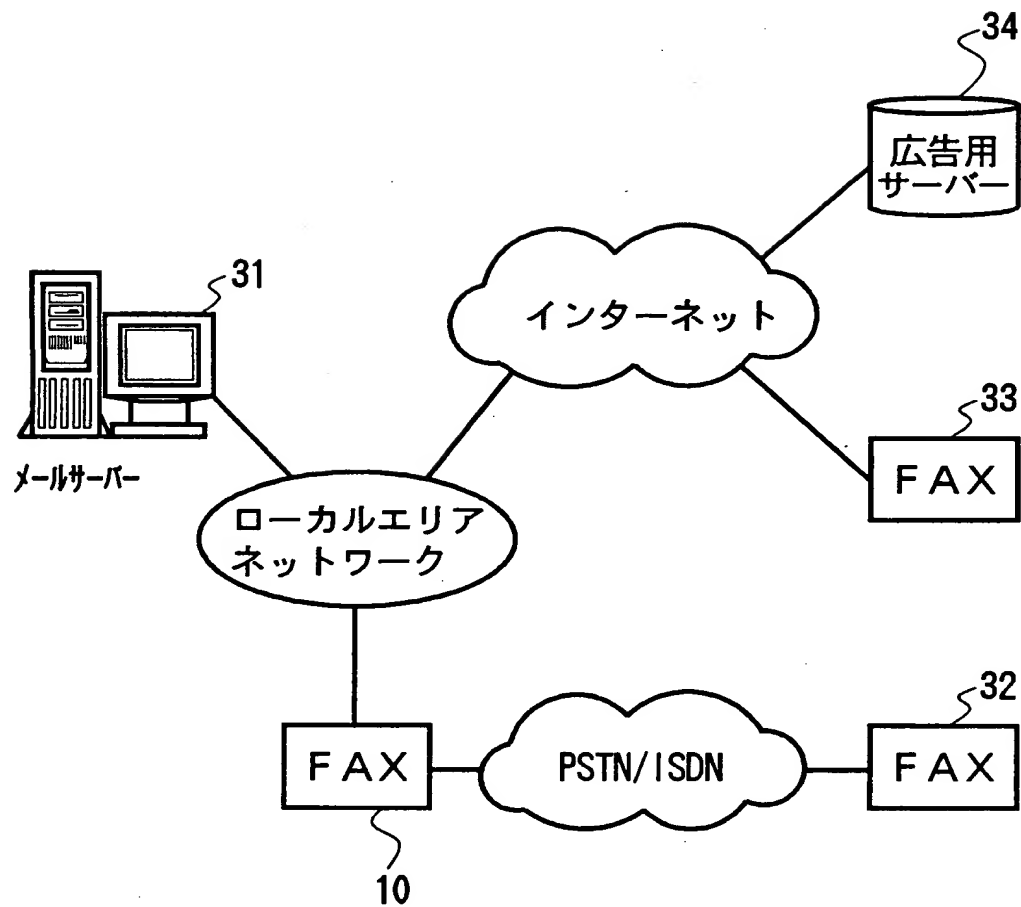
3 4 広告用サーバー

【書類名】 図面

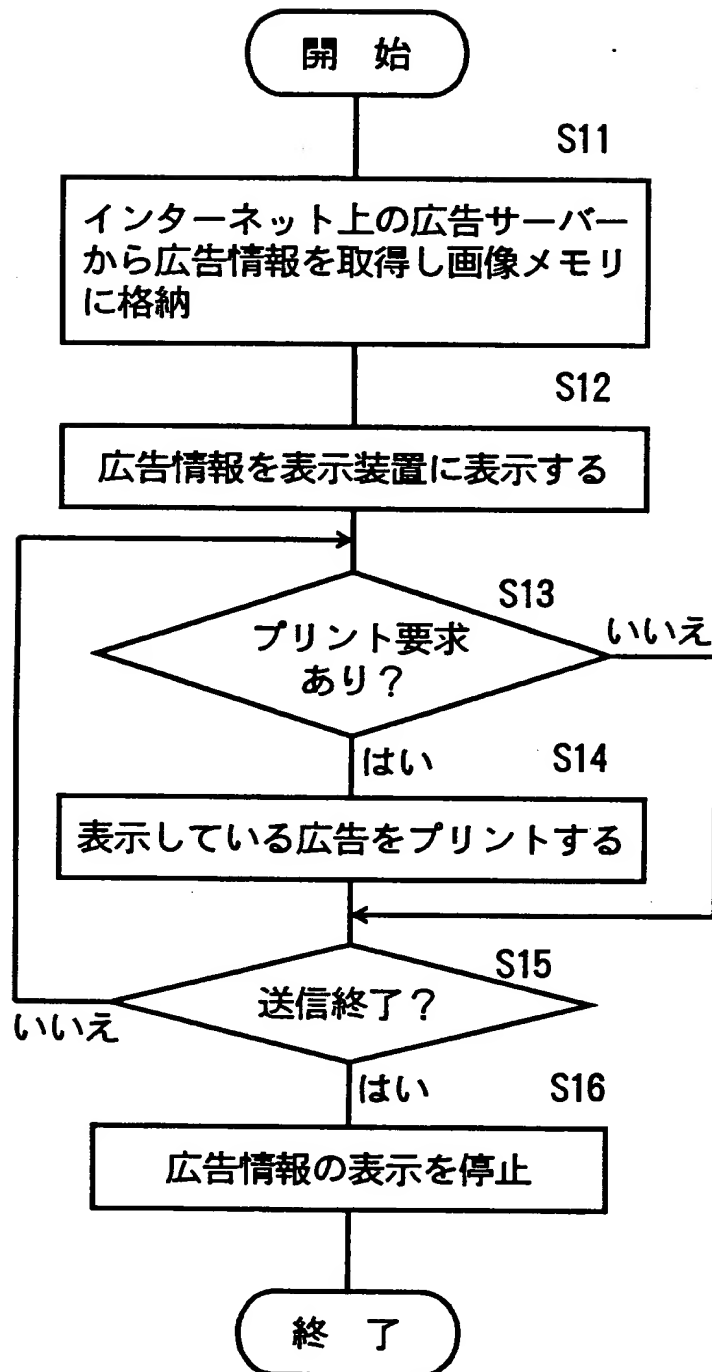
【図 1】



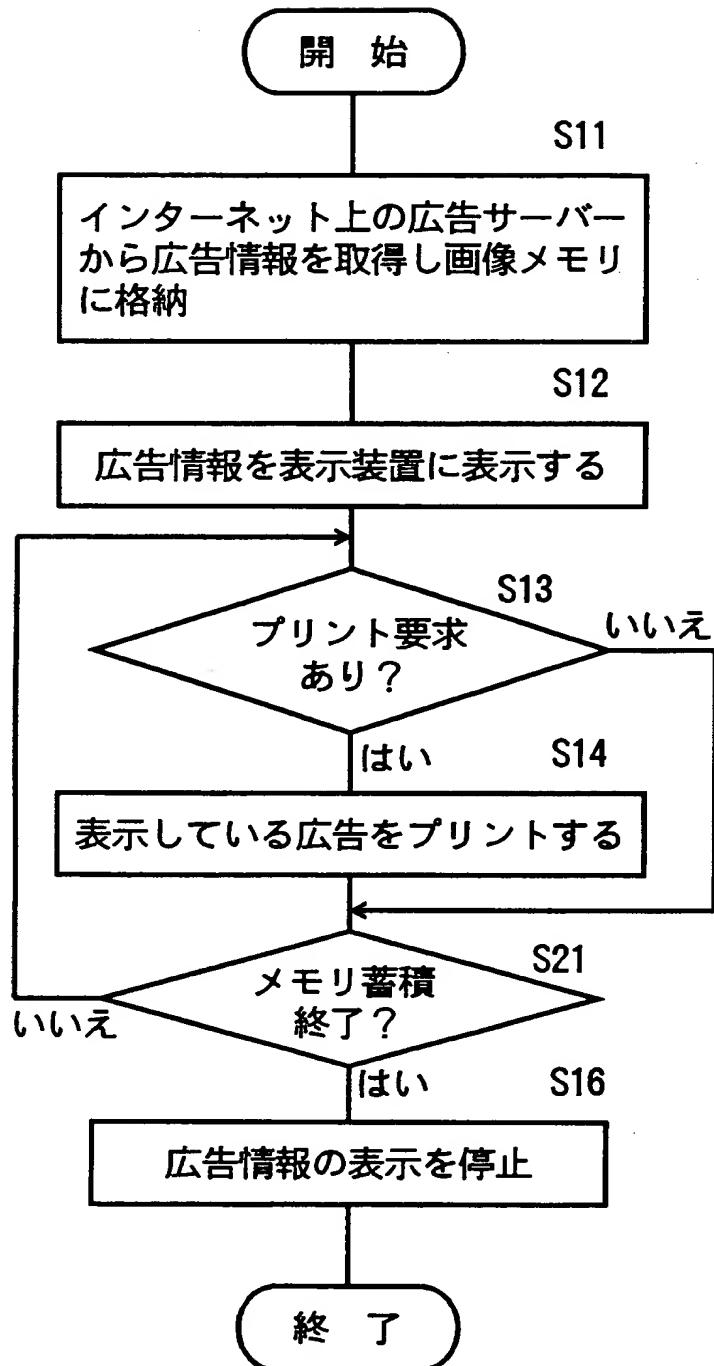
【図 2】



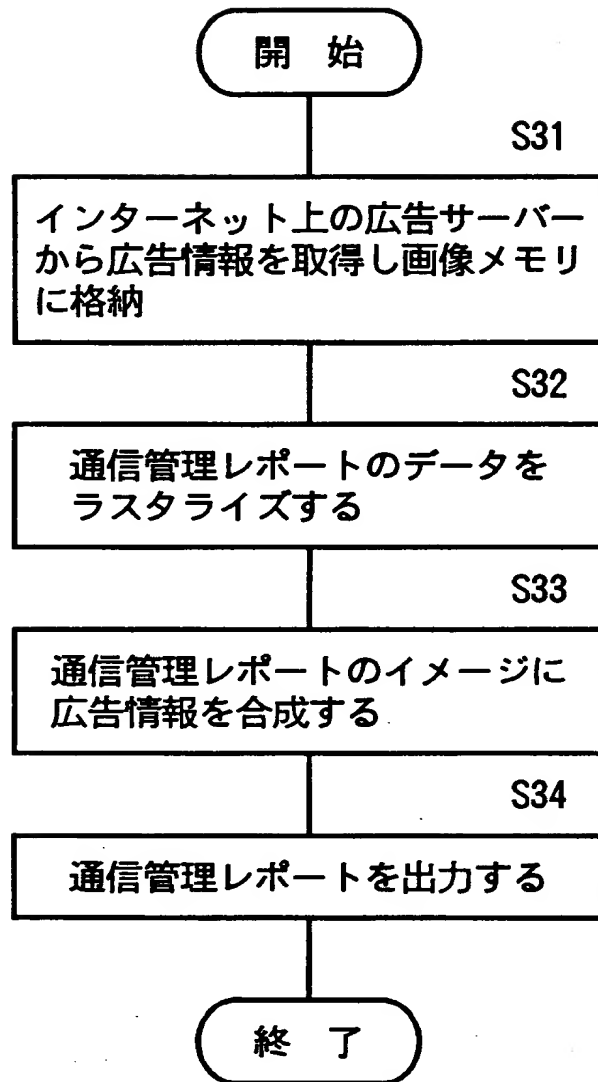
【図 3】



【図 4】



【図 5】





【図 6】

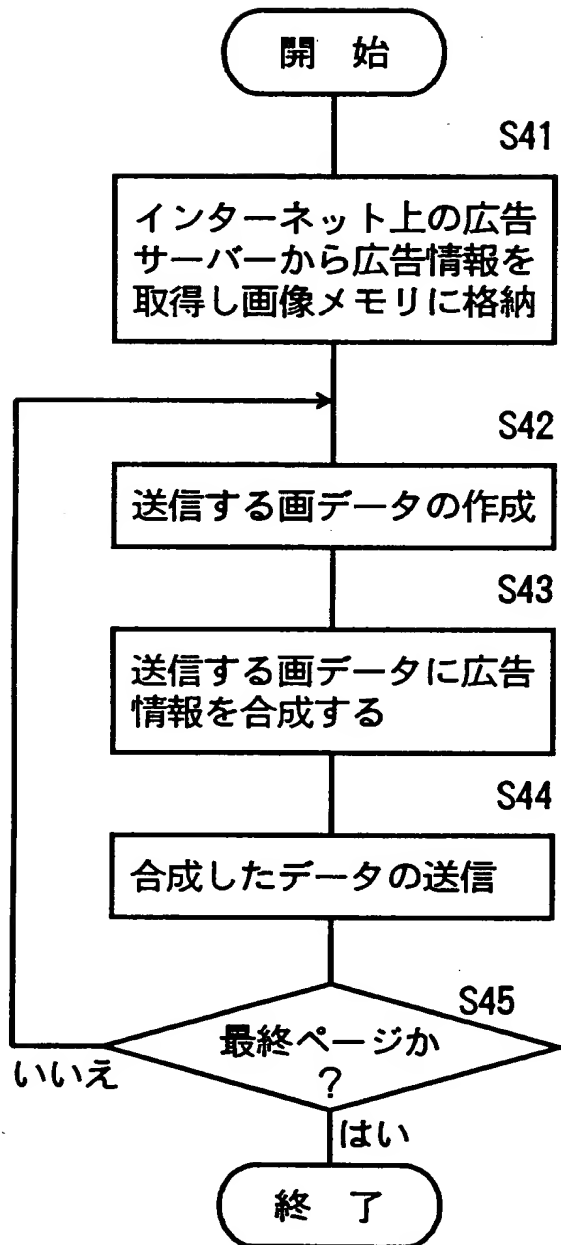
**通信管理レポート**

**99/11/01 10:20    1234                 OK**

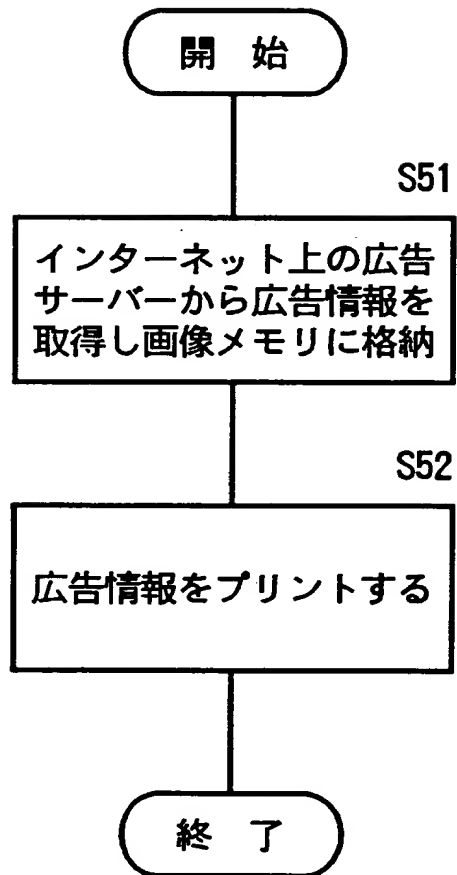
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
. .  
.

**： 広告情報**

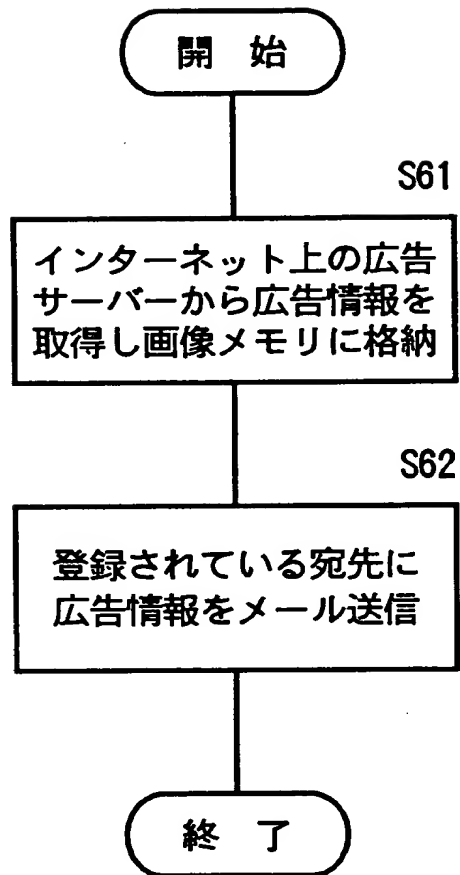
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、インターネットファクシミリ装置およびその広告情報表示方法に関し、インターネットファクシミリ装置の表示手段に広告を表示することにより、インターネットファクシミリ装置を広告媒体として利用し、広告主の出資により、安価なインターネットファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 CPU 11 は、ファクシミリ送信処理中やメモリ送信のメモリ蓄積中に、ネットワークインターフェース部 15 を介してインターネット上の広告用サーバーから広告情報を取得し、操作部 14 の表示装置 14 a に取得した広告情報を表示する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 1990年 8月24日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号  
氏 名 株式会社リコー